

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日課としての散歩や外出、外食支援など生活の潤いである取り組みが定着していない。	日々、参加や活動の機会が持つ潤いのある生活を過ごすことができる。	①日課としての散歩や外気浴が定着する。 ⇒プランへの位置づけやチェック表作成 ②家族会に合わせ外出の機会を増やす。 ③月に一回は認知症カフェや地域のイベントに参加する。 ④外出困難な方の為に、慰問を招待する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議は行っているが、家族の参加が少なく、会議のあり方が画一的になっている。	ご家族の参加が増え、会議が家族や事業所、地域、市との有効な情報交換や協議の場になることができる。	①参加ご家族が増える。 ⇒参加ご案内以外にも直接参加の依頼を行う。 ②事業報告に以外にも会議内容の見直しを行う。 ③事業所防災訓練時、参加を呼びかける。	12ヶ月
3	35	地域が過疎化しており、また地域住民も少なく災害時のマンパワーが得られ難い状況である。	防災訓練実を通じ、家族や近隣の方々にグループホーム自体が多くの高齢者が住む場所であることを理解してもらえる。	①運営推進会議や常会などの活用する。 ②家族会を活用する。	12ヶ月
4	26	ご本人やご家族の生活に対する意向が事業所内で職員に周知、反映されていない。	ご本人やご家族の真意が事業所間で共有できる。	①ご本人、ご家族との信頼関係が築けるよう、毎月のお便りや電話連絡を継続して行う。 ②介護計画を抜粋し職員に周知を行う。 ⇒ケアチェック表の作成	12ヶ月
5					ヶ月